

国語

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
漢字や語彙、文法の知識を増やし、言語感覚を磨く。	文章の展開に即して情報を整理し、内容を正しく捉えると共に、論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する。

学年	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト、小テストの結果より、漢字の書き取りや読みに課題が見られる。ア 文章の内容を捉えることは、ややできるが、文章を作成することには課題が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の課題や漢字の小テストを定期的に行うことで、漢字に触れる機会を多くする。 作文等の書く課題を増やし、書いたものを互いに読み合うことで、いろいろな書き方を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 通年 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと漢字の課題や小テストを行い、漢字学習の機会を増やし、課題を提出する生徒は増えたが、知識の十分な定着には課題が残る。 課題の交流を通して、他者の考え方を知り、よりよい文章を作成できる生徒が増えた。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト、小テストの結果より、漢字の書き取りや読みに課題が見られる。ア 定期テストの結果から、文章を読み、内容を正確にとらえる点で、課題が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の課題や漢字の小テストを定期的に行うことで、漢字に触れる機会を多くする。 少人数で話し合う場面を多く設け、より正確な読み取りを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 通年 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと漢字の課題や小テストを行い、漢字学習の機会を増やし、課題を提出する生徒は増えたが、知識の十分な定着には課題が残る。 単元ごとに他者との交流を重ねることで、文章を読み取ることに繋がった。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト、小テストの結果より、漢字の書き取りや読みに課題が見られる。ア 文章の内容を捉えることは、ややできるが、文章を作成することには課題が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の課題や漢字の小テストを定期的に行うことで、漢字に触れる機会を多くする。 根拠を明確にしながらかくことの課題を多く設定し、少人数で話し合う場面も設けることで、読み取りおよび文章を書く力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 通年 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと漢字の課題や小テストを行い、漢字学習の機会を増やし、課題を提出する生徒は増えたが、知識の十分な定着には課題が残る。 課題の交流を通して、他者の考え方を知り、よりよい文章を作成することができていた。

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について</p> <p>1年 □イ□ノートでの考えや作文の共有【重点：協働】</p> <p>2年 □イ□ノートでの思考の過程や意見の共有、活動の振り返り【重点：個別・協働】</p> <p>3年 □イ□ノートでの思考の過程や意見の共有、活動の振り返り【重点：個別・協働】</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>1年 単元ごとの目標設定と振り返りの実施</p> <p>2年 単元ごとの目標設定と提示及び振り返りの実施</p> <p>3年 単元ごとの目標設定と提示及び振り返りの実施</p>
---	---

